

# 教育ニュース

Vol.12

2022年11月16日

## 11月11日レベルⅢ研修「ケーススタディ発表会」がありました

18名の研修生がケーススタディをまとめ発表することができました。意思決定支援や退院支援、多職種協働などACTyレベルⅢで求められる内容が多かったです。また看護実践を通して自身の思いの葛藤などを表現している研修生もおり、看護を通して成長していることを実感しました。



質疑応答では、他の研修生の発表を聞いて疑問に思ったことを質問したり、自分の学びになったことなどを発表することができました。



### ベストケーススタディ賞

自宅で大切な人と過ごすために  
～終末期患者の意思決定支援と  
退院に向けての関わり～

B-6病棟 由良 未來看護師



他の看護師さん  
からプラスの  
フィードバックを  
してもらいとても  
うれしいです。

今回、投票して下さった看護師さんは102名でした。たくさんの方に研修生のケーススタディを読んでもらい、とてもうれしく思いました。皆さんからいただいたコメントも研修生に返していこうと思います。部署内でもぜひ発表会などを実施し看護についてみんなで語ってほしいなと思います。よろしくお願いします。

レベルⅠ・Ⅱで学んだ内容を土台に、レベルⅢでは日々の経験を振り返り実践に活かすリフレクティブサイクルを使いながら個別性を重視した看護の実践を行い、チームの一員としてメンバーシップを発揮し、今までのサポートを受けていた体験を活かして後輩をサポートし、倫理面に目を向けて問題提起を行う事で倫理観を高め、その集大成としてケーススタディーに取り組み多くの学びを得る事で自己の成長が実感出来たのではないかと思います。

レベルⅢ研修担当 白藤

忙しい勤務の中、ケーススタディをまとめるのは大変だったと思います。どの研修生も自分の受け持ち患者の看護実践をまとめ、文献を用いて看護の意味づけができていました。今まで自分がなんとなくやっていた看護が、このように意図的に関わっていき、それを文章化することで、自分の中の看護観が整理されてきたと思います。看護観をしっかりとるようになると、看護への自信が付き、後輩指導やリーダーシップの育成に役立ててきます。これからの更なる成長が楽しみです。

レベルⅢ研修担当 中野